

議員全員協議会会議録	
1 開会日	平成28年 5月16日 午後 1時30分 開会 午後 3時16分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席議員	吉川重雄 坂田よう子 竹内恵美子 関 威國 三澤龍夫 奥津勝子 二宮加寿子 清田文雄 玉虫志保実 片野哲生 高橋英俊 鈴木京子 渡辺順子 柴崎 茂
4 説明員	町側出席者 中崎町長 栗原副町長 藤家教育長 仲手川政策総務部長 森田参事（地域総合戦略担当） 矢野参事（危機管理対策担当） 大槻総務課長 関口危機管理課長 加藤財政課長 押田財政係長 佐野町民福祉部長 山ロスポーツ健康課長 原環境課長 岩本教育部長 和田消防長 池田消防総務課長
5 職務のため出席した職員	局 長 増尾克治 書 記 波多野昭雄
6 協議等の事項	(1) 議会報告会の反省総括について (2) 議会への申し入れについて (3) 熊本地震について (4) その他
7 その他	一般傍聴 4人

(1) 町長あいさつ

次の5件について、お知らせを受けた。

①「給食食材の放射性物質濃度の測定方法の変更」について

現在、小学校2校と中学校及び保育園の4検体を毎週検査しているが、6月から、平成28年1月に開始した中学校給食については、従来どおり毎週検査し、小学校と保育園については月1回の検査に変更する。

◎主な質疑

問： 測定内容の変更はあるのか。変更する理由は。

答： 測定回数の変更であり、測定内容に変更はない。平成26年4月より放射能不検出の状態が続いていること。また、原子力規制委員会の空間放射線量の測定結果に異常が見られないことから検査の縮小を図るものである。

問： 検査費用はどのくらいかかるのか。

答： 東海大学原子力工学部の全面協力を得ており、無料で検査をしていただいている。

意： 検査費用はきちんと支払うべきである。

②「小学校教育への寄附」について

4月12日（火）に、小学校教育のために、100万円の寄附を受納した。なお、寄附者については、匿名を希望している。

◎主な質疑

なし

③「公私連携幼保連携型認定こども園設置運営事業者の募集」について

5月6日（金）から6月3日（金）まで、公募型プロポーザル方式により設置運営する事業者を募集している。今後、選定委員会の審査結果に基づき、町が設置運営事業者を決定する。

◎主な質疑

なし

④「年金生活者等支援臨時福祉給付金」について

5月13日（金）に、給付の対象になると思われる方に対して申請書を送付した。5月16日（月）から8月16日（火）まで申請を受け付ける。

◎主な質疑

なし

⑤「町ぐるみ美化キャンペーンの実施」について

5月22日（日）朝7時から、町ぐるみ美化キャンペーンを実施する。

◎主な質疑

問： 国府新宿の海岸は浸食が激しく、砂浜の長さが場所によって半分くらいになっているところがある。町の安全確保策の考えは。

答： 美化キャンペーン実施にあたり事前に現地調査を行う。安全を確保できない場合は一部中止する旨区長へお伝えしている。

(2) 町報告事項

①津波避難タワー等の設置工事について

4月27日開催の第32回みなとまちづくり協議会において、県土木事務所から津波避難タワー設置工事の概要説明があった。

津波避難タワーの避難床面は、海拔11メートル、避難床面積60平方メートルで、避難者100名と想定。6月から8月の海水浴シーズンは休工とし、平成29年3月中旬の完成を予定している。今月試験掘削を1週間程度行う。掘削調査中は、転落防止ネットやネットフェンスなどで安全対策を行うとともに、調査終了後は埋め戻しを行うと伺っている。

◎主な質疑

問： 津波避難タワーの設置に幾らかかるのか。

答： 1億2,880万5,159円と聞いている。

問： 避難者100名の考え方は。また、町民への周知はどのように行うのか。

答： 避難者の考え方については、床面積を1人あたり0.5平方メートルと考え、50平方メートルで100名としている。県の考え方は、防潮堤門扉まで避難が5分かかると考え、5分以内に避難できないエリアを海中と想定。海で泳いでいる人数を想定し、100名としたと聞いている。工事着工が9月からとなる。このため、8月の広報で周知する予定となっている。

問： 津波避難タワーの維持管理は県が行うのか。

答： 維持管理については、今後、県と指定管理者である大磯町が協議し進めていくと聞いている。

②神奈川県水防基準水位の見直し結果について

災害対策基本法改正により、立ち退き避難に加え、屋内での待機等の安全確保措置が位置づけられた。これに伴い、避難に要する時間の短縮が予想されること、浸透、浸食に関する監視を強化することなどを踏まえ水防基準水位の見直しが図られた。見直しにより、県が管轄する町内3河川、金目川、不動川、葛川について、いずれも避難判断水位、はん

濫危険水位の目安となる観測水位が下げられている。新たな基準水位については、4月26日から運用される。

◎主な質疑

問： 花水橋観測所、塩海橋観測所、泉橋観測所はそれぞれどこにあるのか。

答： 金目川の花水橋観測所は国道1号より1本上流側の橋、塩海橋観測所は国道1号の塩海橋、不動川の泉橋観測所については城山公園の西側、JRの架道橋付近の橋にある。

問： 水位の状況は、誰がどのように把握するのか。

答： 観測位置にはカメラと水位計が設置されている。その水位計をもとに水防警報等が発令され、県から町に連絡が来る。町は連絡を受け、消防団等の協力を得ながら現状を確認する。

問： 水防団待機水位の変更理由は。

答： 今までは、かなり早い段階から水防団にお願いをしてきたようだが、河川の流下能力を踏まえ見直しがされたものである。

問： 観測所に水位表示の記載があるが、見直しにあわせ表示も変わったのか。

答： 県より、今年度中に表示を改めると聞いている。

③6月議会に提出を予定している大磯町一般会計補正予算について

6月定例会に議案として提出される補正予算について、担当課より説明があった。

◎主な質疑

なし

④その他

大磯町立武道館（消防署3階）天井裏耐火被覆材からのアスベスト検出について

施設の建築時期（昭和49年）から、アスベストを含む建材が使用されている可能性が考えられることから、緊急に分析調査を実施。耐火被覆材にアスベストが含有されているか（定性分析）、また、含有されている場合のアスベスト含有量（定量分析）について調査を行った。

調査日は、4月28日、試料の採取を行い、5月13日に分析結果報告書が提出された。調査業者である㈱ダイワが分析した結果、大磯町立武道館（消防署3階）天井裏の鉄骨耐火被覆材について、定量分析8.25wt%含有のクリソタイルが検出された。

このことから、4月25日より、武道館の使用を中止するとともに、4月28日付けで大磯町立武道館利用団体代表者に「大磯町立武道館の利用

中止について」を通知した。

今後の対応については、アスベストの含有が確認されたことから、今後、浮遊粉じんの調査、飛散防止方法の検討と対策を行いたいと考えている。

◎主な質疑

問： 公共施設のアスベスト調査は、終わっていたのではなかったのか。

答： 消防署は RC 造である。一般に RC 造の場合鉄骨は使用されていないが、例外的に鉄骨が使われていたのではないかと考えている。点検口が無い場所のため今まで点検できなかったが、今回、雨漏りの修繕を行うため、天井に穴を開け点検したところ発見された。結果を受け、改めて施設を所管する各課に対し再調査の通知を出した。

問： きちんと調べないと後手後手に回り、また工事費がかかることになる。再点検の際には、町の公共施設にはアスベストはゼロと言い切れるくらいまで行ってほしい。

答： 一旦は終了した事業であり、対策会議も解散した直後であった。再点検については徹底していきたいと考えている。

(3) 各委員会等の行事報告・予定について

「各委員会等の行事報告・行事予定」の配布により説明は省略。

(4) 報告事項

①委員長等からの報告

○議会運営委員会の概要・・・奥津委員長

5/16 (提出予定議案・陳情の取扱い・9月定例会会期・議会改革検討事項・議会運営申し合わせ事項)

○議会だより編集委員会・・・渡辺委員長

5/16 (第182号の反省・第183号の編集日程・題字募集)

②監査委員からの報告・・・高橋監査委員

③農業委員からの報告・・・竹内委員

④ 4/18 新湘南国道並びに藤沢大磯線(湘南新道)新設改良促進協議会
平成27年度会計監査・・・吉川議長

⑤ 5/12 視察来庁 大阪府熊取町議会・・・吉川議長
(朝の居場所づくり事業について)

⑥ 5/13 県町村議会新議員研修会・・・清田議員

⑦その他

(5) 協議事項

①議会報告会の反省総括について

5月14日に開催した議会報告会について、各議員より次のような意見

が出された。

◎主な意見

- 意見交換の結果について、問い答えだけでなく、どのようにしたのかを載せてほしいという意見があった。
- 夜間の開催もあればといった意見があった。3部構成も考えるべきではないか。
- 少人数に分かれての意見交換を目的に来られる方も多い。もう少し時間を長くしたらよいのではないかと感じた。
- 議会報告会を1時間30分で行うこと自体に無理がある。意見交換の時間を長くするのであれば、全体の時間を長くすべきである。
- 予算審議の報告はきちんと行うべきである。説明責任がある。何も説明しないという訳にはいかない。

②議会への申し入れについて

4月25日付けにて、石神台自治会長、石神台自主防災委員会事務局、太陽光発電所対策窓口担当の連名で提出された「太陽光発電所対策での議会への問題提起についての申し入れ」について協議を行った。

現場を確認し、意見交換を行うこととした。

◎主な意見

- 土砂が畑に流れ込み安全が脅かされているという記載もある。是非、議員全員で現状を見て、意見交換ができたらと考える。
- まずは、行政に対応させるべき案件である。
- 行政が行う部分、外枠にある部分といろいろあると思う。一度皆で現地を見に行き、意見交換すべきと考える。
- 議員提案でエネルギー条例をつくっている。現地の状況を確認し、できることはないか協議を行うべきと考える。
- 行政がどのような対応を取ったのか知る必要がある。我々も現場を見るなり、意見交換を行わないと今までのことが分からない。
- 議員提案で条例をつくったが、条例がどうだったか検証する必要がある。場合によっては条例改正が必要な場合もあると考えている。

③熊本地震について

熊本地震に対する大磯町議会としての対応について協議を行った。

寄附を行うこととしたが、送付先など詳細については東日本大震災の際の方法などを調べ、次回の議員全員協議会で再度協議することとした。

(6) 事務局からの報告

①政務活動費について

平成 27 年度政務活動費の収支報告書について、ホームページで公開している。次号の議会だよりでもお知らせする。

②視察の受け入れについて

5月19日（木）に群馬県榛東村議会が委員会付託の状況・子ども議会の取り組みについて視察するために来庁する。

7月6日（水）に徳島県勝浦町議会が広報活動（議会だより）について視察するために来庁する。

7月7日（木）に鳥取県大山町議会が議会改革活性化の取り組みについて視察するために来庁する。

10月11日（火）に愛知県町村議会議長会が議会活性化の取り組みを視察するために来庁する。

③その他

・事務事業評価

平成 27 年度の事務事業評価シートを配布。

・行政視察の受入方法

受入れ日程や方法を決め、今後ホームページへ掲載していきたい。

(7) その他

- ・次回の議員全員協議会は、6月16日（木）午後1時30分からの予定